

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立勝加茂小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

(教育目標)
心豊かで 自ら考え 学び合う 勝加茂っ子の育成

(めざす児童像)
・進んで考える子 ・思いやりのある子 ・最後までがんばる子

今年度の指導の重点

豊かな心の育成
確かな学力の向上
健康・体力作りの推進
かかわり合う学校作り

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国(小)
国語A・B、算数A・B、理科すべてで平均正答率が、県・全国を上回っている。
国語Aの「話す・聞く能力」は全国を上回っているが、県平均は下回っている。
「書く能力」は、県・全国とも下回っている。
「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は県・全国を上回っている。
国語Bの「書く能力」「読む能力」は県・全国を上回っている。
算数Aの「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」が県・全国を上回っている。
算数Bは評価の全ての観点で県・全国を上回っている。
理科の「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」で県・全国を上回っている。
「観察・実験の技能」は県・全国を下回っている。
県(中)
○国語では「文法・語句に関する知識」問題が県平均を上回っている。
○数学では「対称な図形・縮図や拡大図」問題が県平均を上回っている。
○社会では「戦国時代の社会」問題が県平均を上回っている。
○理科では「物の燃え方」問題で、3問中2問が県平均を上回っている。
4教科とも平均正答率が県平均を下回っている。

【学習状況調査の結果】

「朝食を毎日食べている」項目はは県・全国平均より低い。
「物事を最後までやり遂げて嬉しかった」項目は100%。
「友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意」項目は県・全国より高い。
「平日、TV、ビデオ等3時間以上見る時間」項目は県・全国より少ない。
「平日のゲーム等の時間が1時間以上」項目は県・全国より少ない。
「平日の1日当たりの家庭学習時間」項目は県・全国より高い。
「家庭のひとと学校での出来事を話す」項目が県・全国よりかなり高い。
「家で自分で計画をたてて勉強している」項目が県・全国よりかなり高い。
「学校へ行くのが楽しい」項目は100%。
「地域の行事参加」項目は県・全国よりかなり高い。
「新聞を読んでいる」項目は県・全国より高い。
「5年生までに受けた授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた」項目は県・全 国よりかなり高い。
「5年生までの授業での”めあて”や”ふり返り”をよく行っていた」項目は県・全国より高い。

成果と課題

国語を中心に校内研究に取り組んで5年目になるが、読む能力がつつある。
学校のきまりを守る等の規範意識が高い。
基礎的な知識を活用して問題を解いたり、資料や文章などを分析・検討して説明したりする力がつつある。さらに、長文の読み取りや自分の考えを文にまとめる力をさらにつけていく。
基礎的な事項についても、さらに定着させるため、定期的に復習したり日々くり返して学習したりしていく必要がある。
総合的な学習で自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表する学習活動をさらに取り入れていく必要がある。
授業の中で「目標が示されている」「振り返る活動がある」と意識している児童の割合が多い。

課題に対応した改善方法

「市学力向上げんぼプロジェクト研究推進事業」に取り組み、国語を中心とした授業研究を積極的に行う。
全校共通項目として「めあてやまとめの提示や学習の振り返りを必ず行うなどの一単位時間の学習の流れの確立、自分の考えを持ち表現する時間を確保すること、学習規律の徹底」に取り組み(授業改善)。
朝学習の時間を活用し、進級式で意欲やめあてを持たせながら、毎週水曜日に計算、金曜日に漢字の反復練習に取り組む。
家庭学習の手引きをもとに、家庭にも呼びかけながら、学習意欲や学習習慣の育成・予習、復習の時間の確保につないでいく。
読書活動を「読書週間の定着、本読みカード、朝の読書タイム、読み聞かせボランティアの活用」の取組を通して充実させる。
各種アンケートや教育相談、ケース会議なども活用し一人一人の児童理解、支援を進めながら、規範意識や自己肯定感の育成を図る。
「ノーマメディアにチャレンジ」週間を設け、家庭での過ごし方を家族で見直す機会を作る。
総合的な学習で自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表する学習活動をさらに取り入れていく。

取組の検証方法及び検証時期

学力定着状況を把握するため、各学年でたしかめテストを実施する(2月)。
児童への学習についてのアンケートを実施する(12月)。
上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。

達成目標(数値目標)

国語A・B、算数A・B、理科の平均正答率で県平均を引き続き上回る。